令和５年度 都川水の里公園「稲作体験講座」第１回【開校式・田植え】

第１回の活動は「田植え」、雨のため１週間延期しての開催となりました。
受講者 15 組 49 人の皆さんと一緒に、秋の豊作を祈りながら稲の苗を植えました。

田んぼの農作業は、一人や少人数で行うと大変な負担になりますが、大勢の人たちとの協同作業で行うと負担が少なく楽しく行うことができます。日本の農村では、田植えや稲刈りなど農の営み営みを維持していくために、労働力を対等に交換し合い行ってきました。これを結（ゆい）と呼びます。10 月まで「結」の精神で共に頑張っていきましょう。

１　前日は曇り時々雨の天候でしたが、当日は曇り、気温 20 度前後の田植え日和となりました。開講式のあいさつ、講師による田植えのやり方などの後、いよいよ田植え作業のはじまりです。

２　受講者は３班に分かれて、３枚の保全水田に向かいます。各田には、苗を植える位置を示す「紐」を張るスタッフ２人、欠損箇所の補植や植え直しスタッフ１人を配置し、田植え作業をサポートしました。

３　講師の龍崎さんが、田植えのやり方を説明します。
　苗束の根元から苗を３、４本むしり取り、親指、人差し指、中指で苗を持ち、代掻きした田面に植えていきます。田面に張った紐の目印に沿って苗を植えます。植えた苗が浮き上がらないよう土を寄せて苗を固定します。
１列植えたら、１歩下がって同様に苗を植えていきます。この動作の繰り返しです。

４　田の中に初めて入る人が多かったですが、ひんやりとした土の感触が気持ち良かったそうです。田植え用の足袋を履いた人は少なく、ハイソックスを履いて田に入った人が多かったです。
　植えはじめは上手くできなかった人も、段々と要領をつかみ、植え進むにつれて上手にかつ速くなっていきました。

5　9 時 20 分頃から植え始めて、1 時間余り 10 時 20 分頃に植え終わりました。

6　ボランティアの方が作ってくれた草餅（餡子味、黄な粉）を美味しくいただき、皆さん嬉しい笑顔で第 1 回の作業を無事に終えることができました。